

事業番号	90
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	敬老の日記念事業費			担当課	長寿介護課	
事業期間	開始年度	H15	～	終了予定年度	担当係	長寿係
総合計画	めざすまちの姿	ふれあいあふれる、はつらつとしたまち				
	目標	いつまでもいきいきと暮らす（高齢者福祉）				
	成果指標			中間目標 (H27)		最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	7 目 老人福祉費		
	細事業	136 敬老会開催費 137 長寿祝訪問費				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令	長寿祝金等支給要綱				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的 （何のため）	これまで社会に貢献してきた高齢者に対し、そのご苦労をねぎらう気持ちを直接伝えるとともに、長寿祝いを贈呈し今後も豊富な知識や経験を社会に活かしてもらう。また、生きがいを持った生活を送ってもらう。					
内容（概要）	<p>○敬老会            9月8日（木） 9:45～11:30            会場：アメニティプラザメインアリーナ            内容：記念式典（30分）および余興（歌謡ショーとわんわんサーカス）            参加者全員に記念品の配布            米寿記念撮影及び特別記念品の配布            対象者：6,790人（うち米寿204人） 参加者：1,194人（うち米寿47人）</p> <p>○長寿祝            ・実施日 100歳：誕生日 最高齢者：9月（老人の日前後で調整）            ・贈呈品 100歳：祝金5万円、額装の寿詞及び花束                最高齢者：祝金1万円、花束            ・対象者 100歳：12人 最高齢者：1人</p>					
これまでの改善・見直しの状況	敬老会の開催形式を、市で一括で行う方式から、各地区ごとの方法に変更した方がよいかどうかを検討するため、敬老会参加者にアンケートを行った。結果、これまでどおり市主催の開催形式を希望する声が多かった。  コスト削減のため、記念品の配布対象者（77歳、99歳を廃止）の範囲を縮小し、米寿（88歳）のみとした。					

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	6,303	6,971	6,959	(内訳)
	決算	5,393	5,758		
財源内訳	国庫支出金				補助費 (報償費) 物件費 (消耗品・委託料等)
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,393	5,758	6,959	
職員人件費	5,657	6,526	8,360	人工	0.85 人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
活動指標	敬老会参加者数	人	目標	1239	1,300	1,300	92%
		実績	1250	1,194			
		目標					
		実績					
		目標					
	実績						
実績・改善	平成23度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上高齢者を対象とした敬老会の開催一斉開催することで、盛大な会を実施することができる。また、友人との会話も弾み生きがい対策に有効。</li> <li>・敬老会対象者・家族への周知、PR</li> <li>本人への案内通知に加え、広報こさい・市のHPへの記載、市内各施設へのポスターの掲示等を行うことで高齢者またはその家族へ周知を図ることができる。</li> <li>・米寿を迎える方への記念品の配布</li> <li>民生委員をとおして本人への配布を依頼しているため、地域とのつながりも期待できる。</li> <li>・100歳、最高齢者の長寿祝い訪問の実施</li> <li>100歳の方は誕生日、最高齢の方は老人の日前後に市長が表敬訪問することが周知されてきており、楽しみにしている人が多い。生きがい対策に有効である。</li> </ul>					
課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米寿の記念品（地域振興券）の換金率が悪い（使われていない）</li> <li>・敬老会対象者は年々増加傾向、新居地域の参加率は伸び悩んでいる</li> <li>・市長の表敬訪問の対象者が年々増加し、スケジュール調整が困難となる</li> </ul>						
どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米寿の記念品（地域振興券）の使用期限が迫ったところに未使用者宛に通知を送付した</li> <li>・新居地域の老人クラブ等に対し重点的に誘いかけを行った</li> <li>・市長表敬訪問に関する要領を定め訪問基準を明確化した</li> </ul>						
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米寿の記念品（地域振興券）未使用者へ案内通知を送付した</li> <li>・新居地域への重点的な誘いかけを行った</li> </ul>				効果額 H24-H23 (千円)		
自己評価	事業目的の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会参加者数は目標の90%達成できたが、新居地域の参加率は伸び悩んでいる</li> <li>・市長の表敬訪問に関する要綱を定め、長寿祝い訪問を円滑に行うことが達成できた</li> </ul>					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿であることに敬意を払う機会を設けることは必要である</li> </ul>					
	判定	<b>A 継続</b>	より一層の充実を図り実施	事業主体	市		
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回の敬老会を楽しみにしている参加者も多い</li> <li>・アンケートでは、これまでどおり市主催の開催形式を希望する声が多かったが、場所が遠いという理由もあり新居地域の参加率は伸び悩んでいる。年々敬老会の対象者が増加傾向であり、敬老会開催方法を再検討し、より多くの参加者を促す必要がある。</li> </ul>					
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の状態での事業の継続が妥当かどうか引き続き検討する</li> <li>・敬老会開催方法を再検討、各地域ごとの状況を調査する</li> </ul>					